

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等ディサービス uni		
○保護者評価実施期間	令和8年1月9日 ～ 令和8年1月24日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和8年1月9日 ～ 令和8年1月24日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	本人支援に力を入れており、本人の困りごと等に対してねいに取り組んでいる。	家族や連携機関との連絡を密に取り、生活の全体像を捉えながら、個々に合った支援に取り組んでいる。 必要に応じて面談を実施し、速やかに対応を実施している。	職員全体で利用者ごとの情報共有を図り、共通認識をさらに充実したものにしていく。
2	子どもたちが安心して参加できる、支援プログラムを計画している。	同じプログラムの中でも、個々に合った支援技術を取り入れ、集団で楽しめる工夫を行っている。 また、子どもが選択できるプログラム設定を行い、意思決定が出来るような環境整備を行っている。	個々の能力に合わせた、社会性のあるプログラム提供（公共交通機関での移動、公共施設でのマナーの獲得など）を実施していく。
3	保護者の不安や困りごと等に対し、丁寧に取り組んでいる。	ご家庭の状況に合わせて、送迎時・電話・面談等を通し、不安や困りごとの解消に取り組んでいる。	全ての職員が、保護者対応できるよう、人材育成に取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後等児童クラブや児童館との交流、地域に開かれた施設運営が出来ていない。	放課後等児童クラブの先生方との話の中で、子どもたちの様子を含めると、交流を行う事の難しさを現場は感じている。	移転先において、地域との交流を検討していきたい。
2	きょうだい児の交流支援をしていない。	きょうだい児の交流支援に対する専門的知識が不足している（心理的フォローアップの必要性がある活動と認識しているため）	・きょうだい児交流についてのアンケートを実施する。 ・個別面談で、きょうだい児の困りごとに対する助言等を、引き続き行っていく。
3	非常時等の対応について、保護者への情報共有や発信が少ない。	非常時等の対応について、保護者への情報共有が年度末の保護者会のみとなっている。	定期的な情報発信に取り組んでいく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス uni

公表日 令和 8 年 2 月 16 日

利用児童数 13

回収数 13

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	1		1	・利用開始1か月未満のため、全てにおいてよく分らずみません。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	1		1	・男性職員がいてくれたら、さらに心強い。	職員数に関しては、法令に基づいた配置で運営しております。性別問わず、職員に安心感を持っていただけるように努めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	2	2	1	・特性に応じてバーテーションで仕切ったり、配慮して頂いている。子ども自身もわかっていてと思う。出入口の段差がり、バリアフリーとは言えない。	段差がある事に対して子どもたちが適応しており、災害時に活かされると考えております。一方で、日々のけが予防に努めております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11			2		今後も引き続き、毎日環境整備を実施し、清潔な空間を提供できるよう努めてまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13				・毎週専門支援をしていただき、個別支援の充実を感じます。 ・細かいところまで見て頂き、とても満足しています。	今後も、利用児の特性に応じた支援を継続してまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	1				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13				・モニタリングでの話が、きちんと立派されている。	引き続き丁寧な対応・体制を取りながら支援を行ってまいります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	1		1		今後も、職員による評価を実施し、保護者へのモニタリングや子どもとのやり取りを通して、具体的な支援内容を設定した計画書を作成し、交付してまいります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12			1	・子どもの調子を見て、都度支援内容の考えを頂いている。	引き続き、プログラムが固定化されないよう、確認しながら組み立ててまいります。
保 護 者	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	5	2	4	・uniで色々な子どもさんと関わっていることが、とても良い影響を受けていると感じています。 ・児童クラブ等との交流は、把握しておりません。公園での関わりがあった際は、様子をお聞きしています。 ・我が子は、機会があっても参加は難しいと思います。	利用児に無理がない範囲で、交流出来るように調整を行ってまいります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13				・必要に応じて、説明をいただいている。	引き続き、わかりやすく丁寧に説明を行ってまいります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12			1	・6月の研修会が良かったです ・研修会、保護者会があり、情報共有又学ぶ機会を頂いている。	今後も、計画に取り入れていきたいと思えます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13				・都度、気になる部分を共有させていただき、助言も頂いている。	引き続き迅速な対応・体制を取りながら行なってまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12			1		引き続き定期的に面談等を行い、連携を図れるように努めてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	1				

への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	2	2	2	・保護者会に参加させていただいていますが、仕事もあり交流となると時間が取りづらいです。保護者会の参加くらい（年2回くらい）丁度良いです。 ・きょうだい児支援や交流に関しては、把握できておりません。 ・困ったことがあった時に、家族も事もアドバース頂けて感謝しています。	・保護者会やきょうだい児交流に関しましては、保護者の希望などを踏まえながら今後検討してまいります。 ・保護者からの相談等に関しましては、引き続き素早い対応、助言等を行ってまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12			1	臨時で面談をしていただいたり、迅速に対応して頂いている。	引き続き迅速な対応・体制を取りながら、相談しやすい環境づくりに努めてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13				・支援スタッフの方から様子をお聞きでき、特別な事があった際は、さらにご連絡を頂いている。	引き続き素早い対応・体制を取りながら、相談しやすい環境づくりに努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	1		3	・お便りは子ども楽しみにしています。	定期的なお便りやホームページの更新など、保護者に対しての情報発信を引き続き行なってまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11			2		引き続き個人情報保護に努めてまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	2		1	・非常災害時以外の訓練実施に関して把握できていない。	マニュアルを相談室に掲示しておりますが、より伝わるような情報発信を行ってまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11			2	・避難訓練を毎月していたいただいております。 ・子どもからも話してくれそうです。 ・非常災害時訓練の実施はお聞きしており、我が子の様子も教えて頂いている。	引き続き、活動を通して定期的に避難経路の確認を行っていきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11			2	・送迎時、我が子だけでなくシートと座高のバランスが気になる事があります。ヘッドレストに頭が当たっていないと、追突されたり急ブレーキの際にとても危険です。シートベルトの着用（首にかかっていないか）だけでなく、座った時の全体像も確認してほしいです。	送迎車内では、お客様の安全を第一に考えた支援に取り組んでまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1		1	・迅速な対応を頂いている	事故が発生した場合は当事者の方への迅速な連絡を実施しております。今後も事故のないよう安全面に注意し、迅速な対応に努めてまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12	1				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10	1	1	1	・3月でuniを卒業するので、親子そろって寂しさがあります。開所から本当によく支援して頂き、感謝しています。	子どもたちが楽しみを持ち続けられるよう、個々の特性に応じた支援内容の検討を適宜行ってまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	1			・子どもにとっての一番を、いつも一緒に考えて頂いており感謝している。 ・いつもありがとうございます ・手厚い対応をしていただき、本当にありがとうございます。	引き続き利用者様や保護者様の為に、誠実に支援に取り組んでまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和 8 年 2 月 16 日				
放課後等デイサービス uni						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・パーテーション等の仕切りを設けて、小集団を形成し利用児の特性に合わせた支援に取り組んでいる ・個室として固定されていないため、子どもたちの様子において環境調整がしやすい。	パーテーション等を利用しながら、空間を有効活用し、過ごしやすい環境づくりに努める。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・活動や子どもに状態に合わせて、配置を変えて対応を行っている。	子どもたちの状態の応じた、充実した支援が行えるよう努める。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・パーテーション等で空間が何の目的であるか、子どもにわかりやすく設置している。室内は、バリアフリー化している。 ・机や椅子など、子どもに合わせて使い分けられている。 ・パーテーションを用い、環境調整を柔軟に行っている。	出入口に段差がある為、職員が付いて出入りを行う等の対応を行う。また、緊急時の訓練を通し、安全に移動できる手段を個別に検討し、対応を行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日の環境整備を行い、清潔な空間を提供している。活動に合わせて、使用できるようにしている。	今後も、毎日の環境整備の実施及び、個々に合わせた空間作りに努める。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個別対応（個室）できる部屋を2か所設けている。	安心安全な環境作りに努める。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・全職員に対する目標の周知を行い、面談や会議での振り返りを都度行っている。 ・皆が会議に参加し、情報共有を行っている。 ・毎日の振り返り時に、その場で必要に応じ対応策を検討している。	会議等で意見を出し合い、業務改善に繋げていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・年1回評価表を配布し、保護者からの意見を集約、それをふまえた業務改善を実施している。	アンケート結果をもとにスタッフ全員で話し合いを行い、業務改善に繋げていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・振り返りや面談などを設け、業務改善を都度行う体制を整えている。	会議等で意見を出し合い業務改善に繋げていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後導入を検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・定期的に研修を実施している。 ・事業所内外の研修が、確保されている。 ・計画的な研修の実施や、外部研修に代表で参加した職員からの報告会を設けるなど、会社全体で学べる場を設けている。	資質向上を目指す研修を、計画的に実施していく。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・プログラムを作成し、ホームページで公表している。	ホームページをブラッシュアップしながら、良い支援・必要な支援に繋がるものになるように実践していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・職員による評価を実施し、保護者へのモニタリングや子どもとのやり取りを通して、計画書を作成している。	アセスメントをもとに、個々に合った支援が出来るよう、意見を出し合い計画をたてていく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・原案会議を開催し、職員の意見を反映した計画を検討している。	個々に合った支援内容を、スタッフ全員で意見を出し合い計画を立てていく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・職員への計画書の周知を行い、共有している。	新規・更新等で計画書策定を行った際は、スタッフ全員が確認し支援を行っていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・アセスメント表の作成、日々の振り返りでの状況把握を実施している。	個人別で状況等記録し、変化が分かるようにしていく。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・会議を定期的に行い、支援員皆で支援内容を共有している。	利用者様の状況を踏まえ、各支援項目に関する具体的な支援内容を設定していく
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・各職員の意見を反映できる体制で作成している。	日々のミーティングやその都度意見を出し合い、協議していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・季節の行事を取り入れたり、活動内容に幅を持たせるようにしている。	体験できるプログラム立案など、活動内容の工夫に努める。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・子どもの状態に合わせた活動を提供している。	個々のニーズにこたえられるよう、支援物作成などに努めていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・支援開始前にミーティングを実施し、チーム連携が図れるよう日ごとの計画書の確認を行っている。 ・支援の配置など、細かい動きについても話し合う必要があると考えている。	安心安全な支援体制が取れるよう、日ごと計画書のブラッシュアップに努める。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・毎日振り返りを実施している ・振り返り時、子どもたちの様子を含め、対応の方法等について確認、共有し次回支援につなげている。	日・個人別で状況等記録し、変化が分かるようにしていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・毎日の個別記録に、個々の状態をまとめ、振り返り時に支援状況等検証する。 ・毎日振り返りを実施している	支援について、個別記録をもとに検証・改善に努めていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・子どもの状況に応じて3か月～6か月ごとにモニタリングを実施している	必要に応じて見直しを行い、すぐに対応できるように努める。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・スタッフで話し合いながら作成している。	ガイドラインを周知し、適切な支援が提供できるように努める。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・選択を含めたコミュニケーション支援を行っている。 ・気持ち等を言語化する事を心がけ、支援を行っている。	個々の特性に応じた自己決定が行えるよう、利用児の理解を深め、支援者の支援力向上に努めていく。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児発管及び支援担当職員で参加できるように調整している	会議等に参加できるように、適宜調整を行っていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・学校や協力医療機関等と連携している	関係機関との連携を、密に図る事の出来るよう支援体制を整えていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・保護者より情報提供頂いている。 ・送迎時に学校での様子や、放デイでの様子含め情報共有を行っている。	送迎時や必要時に、迅速に対応できるように努める。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・担当者会議等で情報共有を行っている。	入職前に移行会議を実施している事知らなかった職員がいた。利用児の情報共有について、全職員が把握できる体制の構築に努める。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・保護者の同意を得て、必要に応じて対応している。	必要に応じて行い、迅速に対応できるように努める。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・事業所で依頼している公認心理師の先生に、スーパーバイズや助言・研修を受けている（年2回）	事業所独自の研修システムを導入している。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・地域の公園や公共施設にて活動している。児童ルームは、使用しないように社協から言われた。 ・特性にもよるが、公園で関わりながら遊ぶことが出来ている。	移行支援のかかわり程度であるため、今後は、必要に応じ関わることができるよう努めていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			可能な限り参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時だけでなく、連絡帳やメール・電話等でやり取りし、連携を図り子どもの状況を把握している。	引き続き、話しやすい環境を構築することができるよう努めていく。

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・年1回公認心理師の先生に、保護者向け研修をしていただいている。	研修を定期的に実施していく。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時や保護者会にて説明を行っている。	契約時や受給者証更新時等必要に応じて説明を行っている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・課外活動など、お便りや希望票を配布し、意思確認を行いながら提供している。 ・モニタリング等で確認している。	モニタリング等を定期的に行い、必要に応じて対応できるよう努める。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・交付の際、説明を行い同意を署名にて頂いている。	定期的に面談などを行い、その際に説明を行い同意がもらえるように努める。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・電話やメール、面談等を通して都度相談に応じ、助言及び支援を行っている。	状況に応じた方法で、助言・支援を行うよう努める。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		・グループでのやり取りを踏まえた研修を実施している。 ・きょうだい児交流については、保護者の要望に応じて検討していく。	保護者やきょうだい児から要望などを伺いながら、きょうだい児の交流についても検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情があった場合、迅速かつ適切に対応するよう努めている。	迅速かつ適切な対応に努めていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月お便りを発行し、活動等を周知している。 ・ホームページの活用を今後はしていく。	お便りやホームページとに行事予定などを掲載し発行していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報書類は、鍵のついた棚に保管している。	保管に十分注意しながら、掲示物や配布物に個人情報が含まれない様に配慮していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・視覚支援ツールを用いたり、コミュニケーションにおいて、伝わりやすい配慮を行っている。 ・問題行動等が見られたときや、いつもと様子が違う時には、本人や保護者に聞き取りを行っている。	利用者様や保護者との意思疎通をスムーズに行えるよう、スタッフ同士で情報共有していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・地域の公園を利用している。	必要に応じた対応を、適切に行っていく。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・研修及び訓練を定期的に実施している。マニュアルは、相談室に掲示している。	必要に応じた対応を、適切に行っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・研修や訓練を定期的に実施している。	利用者様が見通しを持って非常時に対応できるよう、活動内に避難経路確認などを組み込んでいく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・服薬内容の確認や、利用時の服薬が必要である場合は、服薬依頼書を頂いている。 ・アセスメント等に、聞き取りを行い把握している。聞き取りの内容は、個人台帳にまとめており、都度確認が行える。	緊急時等に適切に対応できるように、定期的に利用者様の服薬や病歴等についての情報共有を行っている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・現在、食物アレルギーの子どもはいないが、アセスメント時に、必ず聞き取りを行い対応できる体制を整えている。	現時点では対象児はいない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・利用開始前に、点検を行っている。 ・毎年計画を作成し、研修や訓練を実施している。	引き続き安全に気をつけながら支援をしていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・保護者会にて、安全計画の配布、説明を行っている。 ・定期的に避難訓練を実施している。	保護者との連携を行い、適切な対応が取れるようにしていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットの作成後、会議にて再発防止の方策検討を行っている。 ・振り返り等の機会にて、報告や検討を行っている。	会議やミーティング等で行っていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止委員会を中心に、全体研修を定期的に実施している。	職員全員が参加できる研修体制を整えている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・身体拘束を実施しない方針で、支援提供している。 ・こども家庭庁に確認したことをもとに、代替えを考えながら支援を行っている。	契約時に説明を行っており、今後も必要に応じて適切に行っていく。